

# 中日会報

公益社団法人中部日本書道会  
 編集事務局編集部  
 〒450-0002 名古屋市  
 中村区名駅二丁目45-19  
 山ビル8階C号室  
 電話 (583) 19000番  
 F A X (583) 1910番  
<http://www.cn-sho.or.jp>  
[info@cn-sho.or.jp](mailto:info@cn-sho.or.jp)  
 印刷 株式会社 荒川印刷

## 理事長挨拶



理事長  
伊藤仙游

猛暑の続いた夏も漸く終わりを迎え、朝晩の冷気に秋の気配が漂ってまいりました。会員の皆様にはますます、健勝のこととお喜び申し上げます。本会報が皆様のお手許に届く頃には清々しい秋空の爽やかな気候に、心も豊かにお過ごし頂けることでしょう。

しかしながら、一方では本年も台風の影響による線状降水帯などの被害が多発しており、地球を取り巻く環境の変化を危惧せざるを得ません。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

長く続いたコロナウイルス感染症の影響も次第に弱まり、ウィルスは消えてはおりませんが様々な行動制限がなくなり、本会でも以前のように、様々な事業を行えるようになったことは大変喜ばしい事でありです。

今年度前半の事業では第七十二回中日書道展の開催をはじめとする、様々な事業を盛大に開催することができました。これも偏に皆様方のご支援、ご協力、ご尽力の賜物と、心より感謝申し上げます。

下半期の事業につきましては本会報にも掲

載されておりますが、十月「書道教育研修会」十一月には「公開講座」「書の匠展・壽書展」「チャリティー愛の募金」「会員交流ボウリング大会」、その後は「年賀状展」「中日書きぞめ展」「理事評議員会」「講演会」と続いてまいります。参加資格・方法等はホームページでも公開しておりますので、多数ご参加いただけますようお願い申し上げます。皆様方の温かいお心遣いの賜物であります「チャリティー愛の募金」は十二月末日までに、昨年以上に多くの募金を頂戴出来ませう、心からお願ひ申し上げます。

来年度は、先達の先生方が精魂込めて守り発展させて下さった本会が、創立九十周年の節目を迎えます。その記念イベント、展覧会での特別展観なども現在計画中です。書の全ての部門を備え、「東・西」をも包含した素晴らしい団体である本会の、益々の充実発展を図ることが私達の責務であり、すそ野を拡げる方策が大切であるとも思っております。

日本の大切な伝統文化であり芸術である書が、裾野を拡げる事で益々盛んになる。そう信じて事務局・企画委員一同は、一層努力致してまいります。

会員の皆様には今後とも、絶大なご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 「令和5年 チャリティー愛の募金」について

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は、本会の福祉事業に対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本会では、毎年年末に「チャリティー愛の募金」を行っております。

つきましては、本会役員の先生方並びに会員の皆様には広く献金をお願いし、中日新聞社会事業団・東海テレビ「愛の鈴」へ寄託をして参りたいと思います。何卒主旨ご理解の上、下記の通りご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この募金の締め切りを、令和5年11月末といたします。

お申し込みは、郵送された専用振込用紙をご使用の上、お振り込みください。

尚、献金の経過並びにご芳名は1月発行の中日会報でご報告をさせていただきます。

敬 具

理 事 長 伊 藤 仙 游  
 渉外宣伝部長 田 中 修 文

### 目 次

- 1 理事長挨拶 理事長 伊藤仙游  
チャリティー愛の募金
- 2 第四回 書の匠展・第三十二回 壽書展
- 3 行事予定表「十月・三月」
- 4 第三十九回 読書書法展入賞者
- 5 第七十四回 毎日書道展入賞者
- 6 第二十七回 書の魅力 公開講座  
交流ボウリング案内
- 7 第七十四回 中日書きぞめ展作品集
- 8 第六回 手書き文字年賀状作品募集
- 9 支部だより（上半期）

### 団体署名実施協力中

つなごう日本の書道文化  
 ユネスコの無形文化遺産に



#### ご献金にお願いの基準

名誉会長代行、名誉副会長、常任顧問、理事、監事、顧問	10,000円
参与、評議員	3,000円
正会員	1,000円

チャリティー募金は寄付金として控除できます。

確定申告時には、領収書と証明書が必要です。領収書をご希望の方は本部事務局までご連絡ください。

証明書は中部日本書道会ホームページから印刷できます。  
ホームページ <http://cn-sho.or.jp/> メール [info@cn-sho.or.jp](mailto:info@cn-sho.or.jp)

令和 5 年度 公益社団法人 中部日本書道会  
**第 4 回 書の匠展・第 32 回 壽書展**

会 期：令和 5 年 11 月 7 日(火)～11 月 12 日(日)

会 場：電気文化会館 東・西ギャラリー

◇出品予定者

【書の匠展】

鈴木 立齋	佐野 翠峰	後藤 啓太	川崎 尚麗	川合 玄鳳	神谷 光園	上小倉積山	加藤 矢舟	大木 青嵐	大池 青岑	岩田 澗流	伊藤 小游	磯谷 凄聴	天野 白雲	横井 宏軒	松下 英風	加藤 裕	岡野 楠亭	伊藤 仙游	鬼頭 翔雲	安藤 滴水	樽本 樹邨	神田 真秋
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

	松永 清石	早川 泰山	中林 露風	近藤 浩平	後藤 汀鶯	黒田 玄夏	加藤 子華	梶山 夏舟	伊藤 昌石	安藤 秀川	村上 史麗	田中 石雲	遠藤 栄久	山本 雅月	山中 桂山	村瀬 俊彦	水野 峯翠	古川 昇史	廣澤 凌舟	広井 秀琳	原田 凍谷	馬場 紀行	波切 童州	中林 景	柘 英峰	武内 峰敏	高木 玄齊
--	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------

築瀬 舟香	本間 翠眉	鈴木 瑞象	杉坂 育子	杉江 秀城	磯和 鴻東	横山 夕葉	山際 雲峰	山内 江鶴	村田 華穂	水谷 海越	三神 榮軒	松浦 華苑	長谷部青徑	丹羽 常見	中村 秀峰	中野 玉英	富田 栄楽	津田 秋月	武山 翠屋	近藤 素光	権田 穂園	工藤 俊朴	木戸 竹葉	片山 清洲	落合 深淵	今井 仙童	井野 吟紅	伊藤 曉嶺
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

齋藤 芝香	近藤 晴翠	小島 雪舟	小島 岐香	黒野 芝香	久野 天山	川本 赫汀	河原崎坡青	神谷 采邑	加藤 碧涛	加藤 艸舟	籠瀬 提花	尾関 楊花	奥村 碧洋	岡地 紅華	大塚 窓月	太田 佳香	遠藤 紫聖	宇野 光峰	内本 久園	入谷 霞流	今田 紅溪	伊藤 翠芳	伊藤 玄圃	石原 春香	石井 瑞鶴	猪飼 閑雲	安藤 清香	安達 柏亭	秋松 秀玲	青山 高陽
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

野村 暁峰	野中 曾川	野田 佳楊	丹羽 裕	新美 珠光	中山 芳泉	中村 曾南	仲村 春水	永谷 恵子	中川 貴舟	中尾 芝菜	中井 港星	錫澤 澄江	塚田 俊可	谷 泉石	田島 不染	竹内 梅泉	竹内 春翠	高田 香坡	高島 濤翠	世古口大虚	鈴木 蘭峰	鈴木 静苑	鈴木 松厓	杉山 瓊川	杉本 京扇	白木 紫香	志村 舟泉	志水 玉華	篠田 祥濤	桜井 和香
-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

				渡辺 月潭	米田 厓陽	吉田 香雪	吉澤 劉石	山本 史鳳	山川 孝子	山川 昌泉	桃井 祥谷	村井 康山	三輪 三麗	宮田 清風	光澤 閑石	松田 穂輝	松田 鶴鵬	牧 仙岳	古田 秀紅	古川 花溪	藤原 郁代	福島 有伺	深谷 紅蘭	平野 公慎	坂野 竹童	阪野 小波	林 春翠	萩野 琴苑	則武 穹	野村 揚月
--	--	--	--	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------

【壽書展】

半田 幸瑩	馬場 紅雲	野村 繁子	野澤恵美子	永田 正毅	長澤 美峰	中垣 幸聲	寺尾 洌	白井 美翠	正徳 李泉	清水 水僊	澁谷 弘峯	柴田 恵子	篠田 仰信	佐藤 芳泉	佐藤 桃華	佐々木映雪	近藤 明彦	小早川恵祥	後藤 雙華	熊谷 弦謠	川部 啓子	加藤 芳枝	大石 窓雪	伊藤 鴻仁	飯田 紫泉	安藤 紫烟	縣 欣司	青山 碧雲	前野 秋豊
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------

			柚原 飛峰		矢田 康代	三輪 盈夫	飛田 泰仙	長谷つや子	都筑 仲堂	竹山 秋峰	志村 紫峰	佐々木陽道	佐伯つた子	神谷 秀峰	加藤 真郷	岡村 吉彬	大野 大典	遠藤 鶴川	岩田 旭峰			山田 望星	田辺 泰子	鈴木 志保	近藤 向華	小林 秋月	三輪 彩光	水野 紅翠	前野 秋豊	船橋 幽泉
--	--	--	-------	--	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--	--	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(順不同)  
十月二日現在

令和5年(2023年)度 公益社団法人中部日本書道会

行事予定表「10月～3月」

※各事業につきまして変更になる場合がありますので、各事業のご案内でご確認をお願いします。

月	日	曜	本 部	支 部 「支部展・支部集会・交流会・講演会・研修会」
10月	15	日	第35回書道教育研修会 (国際センター)	
	28	土		東三河支部研修会
	29	日		一宮支部講習会 中南勢支部研修会
	31	火	中日会報210号・会員名簿発送 (予定)	西三河支部研修会 岐阜支部研修会
11月	6	月	第4回書の匠展・第32回壽書展 搬入・陳列 (電気文化会館)	
	7	火	第4回書の匠展・第32回壽書展 (電気文化会館)	
	8	水	〃	
	9	木	〃	
	10	金	〃	
	11	土	〃	
	12	日	〃 搬出	第27回公開講座 (電気文化会館)
	15	水		中南勢支部展 (三重県立美術館ギャラリー)
	16	木		〃
	17	金		〃
	18	土		〃 中南勢支部集会・講演会 (三重県立美術館講堂)
	19	日		〃 支部展最終日 北勢支部研修会
	25	土		第68回一宮支部展・第51回一宮支部学生書道展 (一宮スポーツ文化センター)
	26	日	ボウリング大会	〃 半田支部研修会
末		チャリティー愛の募金締切		
12月				
2024年 1月	2	火		東三河子ども書道展 (豊橋市子ども未来館ここにこ) 1月8日(月)迄
	18	木	第74回中日書きぞめ展搬入締切 (本部)	
	下旬		中日会報207号発送 (予定)	
2月	3	土	第74回中日書きぞめ展審査	
	4	日	評議員会・講演会・祝賀懇談会	
	14	水		第56回西三河支部会員展 (岡崎市美術館)
	15	木		〃
	16	金		〃
	17	土		〃
	18	日		〃 西三河支部集会・講演会 (岡崎商工会議所) 北勢支部講習会
25	日		一宮支部集会・講演会・交流会 (一宮スポーツ文化センター・真清田神社)	
3月	3	日		半田支部集会・講演会 (半田市福祉文化会館)
	9	土	第74回中日書きぞめ展 (ナディアパーク)	
	10	日	第74回中日書きぞめ展表彰式 (ナディアパーク)	







## 令和5年度 第27回 書の魅力 公開講座

会員及び一般市民を対象に、中部日本書道会を代表する2名の講師が書の魅力について講演します。

11月12日(日)

受付 12:30~12:50

開会行事 13:00

第一講座 13:15~14:15

理事

**磯谷 凄聴 先生**

演題 「臨書を楽しむ」

第二講座 14:35~15:35

顧問

**丹羽 常見 先生**

演題 「印泥の扱いと押印について」

閉会行事 15:35

会場 電気文化会館  
イベントホール (5階)  
名古屋市中区栄2-2-5

日時 令和5年11月12日(日)

会費 無料  
(ただしテキスト・資料代として2,000円集めさせていただきます)

対象 15才以上で原則として2講座とも聴講できる方

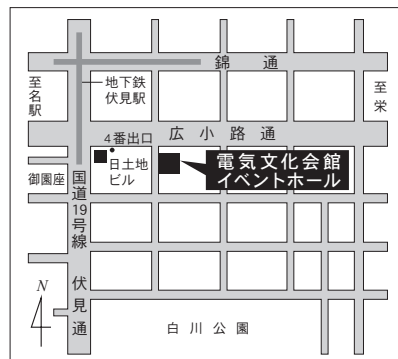
定員 150名(先着順)

締切 10月13日(金) ※受講のお知らせは締切後、発送します。

申込 (1)郵便番号 (2)住所 (3)電話番号 (4)姓 (5)本名 (6)会員資格(または一般)を記載し、ハガキまたはメールで下記迄に申し込み下さい。

**ハガキ申込先** 〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号  
桑山ビル8階 C号室  
中部日本書道会 公開講座係

**メール申込先** [koukai@cn-sho.or.jp](mailto:koukai@cn-sho.or.jp)



第4回 書の匠展  
第32回 壽書展 開催

会期 令和5年11月7日(火)~11月12日(日)  
会場 電気文化会館 (5階 東・西ギャラリー)

主催：公益社団法人 中部日本書道会・中日新聞社 後援：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

会員交流

# ボウリング大会

懇談会 競技終了後

会場 星ヶ丘ボウル

会費 3,000円(会員外4,000円) ※競技費、懇談費用を含む

募集人数 80人

申込〆切日 11月6日(日) 本部又は厚生部伊藤昌園まで。

会員外の方も参加出来ますので、ご友人等おさそい合わせください。多数のご参加をお待ちしております。(厚生部)



# 第74回 中日書きぞめ展作品募集

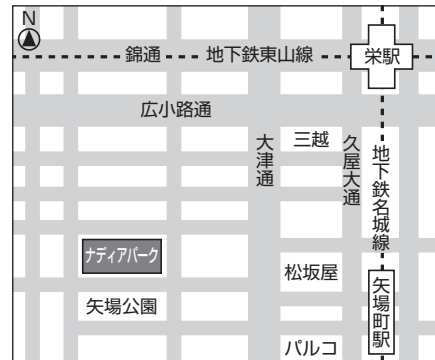
## ◆会 期 令和6年3月9日(土)・10日(日)

9日(土) 午後1時～午後6時

10日(日) 午前10時～午後6時

## ◆会 場 ナディアパーク2F アトリウム

名古屋市中区栄3丁目18番1号



## ◆授 賞 式 令和6年3月10日(日) 午後2時

ナディアパーク3F デザインホール

理事長賞以上の生徒さんに出席していただきます。

- ## ◆褒 賞
- 衆議院議長賞、参議院議長賞、文部科学大臣賞、  
愛知・岐阜・三重各県知事賞、名古屋市長賞、  
愛知・岐阜・三重各県議会議長賞、名古屋市会議長賞、愛知・岐阜・三重各県教育委員会賞、  
名古屋市教育委員会賞、記念賞、中日書道会賞、中日新聞社賞、東海テレビ放送賞、CBCテレビ賞  
(以上申請中)、名誉会長賞、理事長賞、推薦、奨励賞、特選、準特選、秀逸、佳作、入選  
※会場には奨励賞以上の作品を陳列します。

★本年はCBCテレビ賞以上の作品を、令和6年6月開催の中日展（一般部展覧会）愛知県美術館  
ギャラリー8階に展示致します。

## ◆資 格 幼年・小学生・中学生・高校生

## ◆課 題 自由

## ◆出 品 要 項 詳しい出品要項出品目録が中日書道会本部にありますのでお問い合わせ下さい。

- ## ◆作 品
- 用紙は、半切1/4縦（ハツ切）※高校生は半切縦も可 ○作品は、表装しないこと。
  - 書体は、幼・小＝楷書、中＝楷書又は行書、高校生＝自由
  - 作品には、学年・氏名を必ず明記すること。

## ◆出 品 料 一点につき400円（個人出品者は賞品、賞状の郵送料として300円を加算して下さい。）

## ◆搬入締切 令和6年1月18日(木) 午前10時～午後3時 (送付される場合は17日(水)中部日本書道会本部必着をお願いします。)

## ◆搬入場所 公益社団法人 中部日本書道会 〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号 桑山ビル8階C号室 担当 第一教育部長 武内峰敏 TEL <052> 583-1900 FAX <052> 583-1910

## ◆取 扱 所 伊藤大林堂、永楽堂、應天堂、魁盛堂、伽藍、菊屋商店、高誠堂、小松表具店、書遊 平野筆墨堂、 青柳堂、大玄堂、長楽斎筆舗、名古屋キョー和、名古屋ハウコドウ

主催 公益社団法人 中部日本書道会、中日新聞社

後援 愛知県・愛知県教育委員会、岐阜県・岐阜県教育委員会、三重県・三重県教育委員会、  
名古屋市・名古屋市教育委員会、東海テレビ放送、CBCテレビ(申請中)



## 第6回 手書き文字年賀状作品募集

公益社団法人中部日本書道会では、下記の通り年少者～高校生を対象とした第6回「手書き文字年賀状コンクール」を開催します。個性あふれる心温まる手書きの年賀状を奮ってご応募して下さい。

優秀作品を本会ホームページに掲載し、入賞者には図書カードを贈呈します。


- 応募規定**
- ・ 出品料は無料。一人1点のみの出品とし、郵便葉書の大きさに限る。(縦横は自由)
  - ・ イラスト等入っていても可とするが、必ず手書きされたものに限る。
  - ・ 筆記用具は自由とし、小学校3年生以上は毛筆(筆ペンを含む)を奨励する。
  - ・ 宛名面左側に郵便番号・住所・氏名・学年(年少者は年齢)を明記の上、下記送付先に郵送のこと。

**応募資格** ・ 年少者～高校生

**応募締切** ・ 令和6年1月19日(金) 必着

**作品送付 問い合わせ先** ・ 〒450-0002 名古屋市東区名駅二丁目45番19号 桑名ビル8階 C号室  
公益社団法人中部日本書道会「手書き文字年賀状コンクール」係  
TEL (052) 583-1900

**入賞発表** ・ 1月末(予定)に本会ホームページにて優秀作品を掲載し発表とする。  
・ ホームページアドレス <http://www.cn-sho.or.jp>

 **あとがき**

・ 中日会報二一〇号をお届けいたします。  
・ 本号では、毎年皆様方の温かいお気持ちを頂戴いたしております。「チャリティー愛の募金」のご協力お願い。熟達の方先生方による「書の匠展・壽書展」。毎年多くの受賞者をご報告させて頂いております。「読売展・毎日展の入賞者」。知力豊かな講師二名による「書の魅力 公開講座」。会員交流の「ボウリング大会」。七十四回を数える「書きぞめ展」。高校生までを対象とする「手書き文字年賀状」等の募集。ご案内を掲載致しております。  
・ コロナ禍より本会事業も通常に戻りつつあります。しかし、感染の終息もなかなか見えず、不安も払拭されませんが、引続き対策を講じながらの事業推進となります。  
・ 会員の皆様には諸事ご理解の上、ご協力をよろしく願っています。

(編集部)

ホームページアドレス <http://www.cn-sho.or.jp>  
メールアドレス [info@cn-sho.or.jp](mailto:info@cn-sho.or.jp)

### 社中展・個展のご案内掲載について

本会会員による書展のご案内を会報及びHPにて掲載させていただきます。会報掲載には、展覧会案内原稿、HP掲載には展覧会案内ハガキをお送り下さい。尚、展覧会原稿及びハガキは、必ず封書にてお送り下さい。次号掲載は、二月下旬～五月中旬開催の展覧会となります。お申し込みは、十二月二十日までに本部へ願います。

編集部

### 訃報

心より哀悼の意を表しご報告申し上げます。

○8月6日 評議員 鈴木美都子氏 (母堂 近藤瑞璃子様 享年86)	○8月30日 評議員 三輪三麗氏 (主人 博様)
○8月11日 評議員 伊吹代美氏 (母堂 享年97)	○9月6日 理事 大池青岑氏 (母堂 圭子様 享年87)
○8月15日 評議員 田口勢望氏 (母堂 久子様)	事後報告
○8月18日 評議員 鈴木容華氏 (母堂 きぬ様 享年103)	○2月24日 正会員 森島麗石氏 (享年88)

### 新入会員紹介(十月分)

● 半田支部 江口 芳枝 早川 礼子



# 支部だより(令和四年度上半期)

## 一宮支部

### ●第一回部長会

日時 四月九日(日)  
会場 一宮スポーツ文化センター  
出席者 部長会、十六名

### ●第二回部長会

日時 六月四日(日)  
会場 一宮スポーツ文化センター  
出席者 部長会、十六名

### ●第三回部長会

日時 八月二十日(日)  
会場 真清田神社参集殿  
出席者 部長会、十六名

### ●第五十回記念一宮七夕まつり学生書道展

### ●第二十九回選抜作品展

(役員・指導者の小作品展)  
日時 七月八日(土)、九日(日)  
会場 一宮スポーツ文化センター  
来場者数 一、八一五名

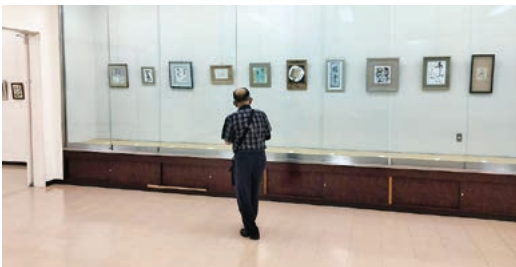
上半期の行事には、支部協力体制にて参加を致しました。コロナ感染症も五類に移行し中止されていましたが七夕学生展恒例のうちわ書きの行事も再開いたしました。初めてうちわ書きをするお子さんも随分楽しく過ごしていました。皆様のご協力のお陰をもちまして、無事開催実施終了することが出来ました。



第50回一宮七夕まつり学生書道展



うちわ書きイベント



第29回選抜作品展

## 半田支部

### ●第八回公開書道研修会

日時 七月二十三日  
会場 半田市福祉文化会館

講師として評議員高根桂祥先生をお招きしました。「かな文字と大和ごころ」と題し、会員十六名、一般受講者十三名が参加しました。高根先生が自らしたためられた手本が全員に配布され、個人個人への細やかなご指導をいただき、素晴らしい研修会となりました。【中日新聞掲載、CAC(ケーブルテレビ) 放映】

### ●第五十七回半田支部展

日時 九月二十三・二十四日  
会場 半田市福祉文化会館  
本部長理事・副理事長および支部名誉顧問の特別出品を含み、展示数は計八十二点



講師 高根桂祥先生



公開書道研修会



第57回半田支部展

に及び、来場者は二日間で約二五〇名でした。

会員の皆さんは支部地区での発表の場として、それぞれの特色を活かした個性ある作品を出展しました。ご来場の方々も楽しんでいただけたのではないかと推察いたします。【中日新聞掲載、CAC放映】

また、今回は三年ぶりに懇親会を開催することが出来ました。名誉顧問の皆様にもご参加いただくことができ、会員と共に親睦が深められた会となりました。懇親会場では長年に渡る支部運営への感謝として、山内前支部長、平松・林前支部次長に花束が贈呈されました。

西三河支部

●支部研究会

日時 三月二十六日(日)  
会場 安城市民会館  
参加者 六十二名

日頃から、各自研鑽している作品を、支部当番審査員及び役員の先生方のご指導を仰ぎ、有意義な時間を過ごすことができました。

●第五十六回学生書道展

日時 七月七日(金)～九日(日)  
会場 岡崎市美術館  
出品点数 三、九三八点  
(うち高校生三三二点)

入場者数 一、〇七一名  
学生書道展は、毎年テーマを決めて開催しており、本年度は「山」とした。コロナ禍を鑑み、各作業を最小限の人数で行い、展示作品は特別



研究会



学生展審査風景



学生展作品の貼付作業



学生展会場風

賞以上と高校生とした。

課題決定から、賞状・賞品発送まで、大きなトラブルもなく、無事終了することができました。

(課題) 幼 いし

一年 つち 二年 やま

三年 木立 四年 谷川

五年 山地 六年 坂道

中一 尾根 中二 登頂

中三 雲海 高校 高山植物

また、展示会場には作品に加え、審査風景や貼付作業、陳列作業の様子がわかる写真を掲示したことで、參觀者から学生書道展への一層のご理解をいただくことができました。

東三河支部

●東三河支部展

会期 令和五年七月二十五日(火)～三十日(日)  
会場 豊川市桜ヶ丘ミュージアム  
第一～四展示室

出品者 支部所属会員

出品点数 九十一(賛助出品含む)

本部から伊藤仙游理事、岡野楠亭副理事長、加藤裕副理事長、松下英風副理事長、横井宏軒副理事長兼事務局長、五名の先生の玉作を賛助出品していただき、第四十六回東三河支部展を開催いたしました。

ご来場いただいたお客様や先生方から温かい励ましや、ご指導を賜り、盛会のうちに終わることができました。

●講演会

日時 七月二十九日(土)  
午後三時半  
会場 ロワジュールホテル豊橋

聴講者数 五十九名

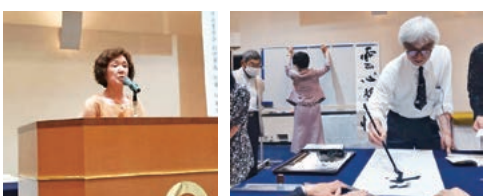
講師 中日本書道会 副理事長 加藤 裕 先生

演題 「書道史散歩―三国時代の書体の変遷―」

講演会は三国時代と文字の時代背景に伴う変遷についてわかりやすくお話されました。中でも「文字とは神様の言葉の形にしたもの」、「文字には精霊が宿る」というお言葉は、とても心に響きま



東三河支部展



会員集会



講演会

した。文字は神聖なもので真摯な気持ちで向かい合わなければと強く感じました。また、揮毫もしていただき、近代詩文書作品を書かれる先生の筆遣いをまじかて学ぶことができました。

●会員集会

日時 七月二十九日(土) 午後五時  
会場 ロワジュールホテル豊橋  
参加者 五十九名

本部から加藤裕副理事長、横井宏軒副理事長のご臨席を賜り、令和五年度東三河支部会員集会を開催しました。令和四年度事業報告並びに令和五年度事業計画、令和四年度収支決算報告及び令和五年度収支予算案について報告されました。その後、第七十二回中日書道展の入賞者が紹介され、会員一同盛大な拍手でお祝いしました。今年も昨年同様交流会を中止し、お弁当を持ち帰っていただき解散となりました。



濃飛支部

第三十七回濃飛支部展

例年に無い猛暑日が続く中、ようやくコロナ禍も下火になり、通常の生活が戻って来た中で濃飛支部の最大行事となる支部展を開催出来ました事を御報告申し上げます。

会期 令和五年八月十八日(金)～二十日(日)

中津川にぎわいプラザ

五階展示室

後援 中津川市、中津川市教育委員会、中日新聞社(十九日に掲載して頂きました。)



理事長副理事長賛助作品

作品は伊藤仙游理事長をはじめ副理事長

の岡野楠亭先生、加藤裕先生、松下英風先生、横井宏軒先生より賛助出品して頂き、中日書道展の出品作の他、小作品を展示し、風格のある中に多彩な作品展示であったと感じております。

又八月二十日の支部集会の折にはお忙しい中、伊藤仙游理事長と横井宏軒副理事長に御臨席して頂き大変感謝しております。

そして会員の皆様もさることながら本当に多くの方々の御助力、応援有難う御座居ました。今後共宜しくお願い申し上げます。



会員小作品

北勢支部

第三十六回北勢支部展

会期 七月二十一日(金)～二十三日(日)  
会場 四日市市文化会館第一展示室(二階)

出品総数 八十点

賛助出品 (本部より) 五点

入場者数 四五〇人

今回の支部展は、会員外の出品が十五点もあったこと、更に帖・卷子の出品を急遽可能にしたことで、展示に幅がで、バラエティ豊かな内容になったことが特筆すべきことです。また元支部長の故井口芳燕先生の遺作もご遺族の了承を得て展示させていただきました。

支部集会

日時 七月二十三日(日)  
会場 四日市市文化会館第三ホール  
出席者数 四十三名



北勢支部展



北勢支部集会



北勢支部講演会

本部より松下英風副理事長。天野白雲総務部長のご臨席を賜わり、令和四年度事業報告、収支決算報告、会員数報告、令和五年度事業計画案、同予算案が承認されました。

講演会

講師 講師理事 山本 雅月先生

演題 「かなの美しさ」

支部集会に引き続き同会場にて行なわれました。スライドを利用して、難しいことをわかりやすく解説いただきました。特にかな書道は、平安の昔からその専門的技術を習得する事と、それにも増して重要なことは調和のとれた円満な人格を作り上げること、即ち全人的な人間を育てることが最も尊いとされた事であって、これは漢字の書も同じと言うか、書道はみな同じ考えが根本にあると言うことを確認できたことが収穫です。

中 南 勢 支 部

● 地域文化紹介

中 南 勢 支 部 に お き ま し て は、十 一 月 十 五 日 午 後 よ り、十 一 月 十 九 日 ま で 三 重 県 立 美 術 館 県 民 ギ ャ ラ リ ー に お い て、第 三 十 六 回 支 部 展 を 開 催 し ま す。期 間 中 に 集 会、講 演 会 も 開 催 の 予 定 で す。

中 日 会 報 二 〇 六 号 で 松 阪 市 阿 坂 町 の 日 下 部 鳴 鶴 先 生 の 碑 を 紹 介 致 し ま し た。今 回 は 少 し 書 か ら 離 れ た こ と 「十 六 善 神 図」に つ い て 述 べ た い と 思 い ま す。先 日 大 般 若 転 読 会 と い う お 寺 の 行 事 に 参 加 さ せ て い た だ き ま し た。転 読 会 は 僧 侶 た ち が 経 卷 一 卷 一 卷 を 転 読 す る の で あ り ま す が、六 〇 〇 卷 を 全 て 読 む こ と は で き ま せ ン。折 帖 の よ う な 経 卷 を 高 く 上 げ、パ ラ パ ラ と 下 に 落 と す こ と で 一 卷 を 読 ん だ こ と に な り 転 読 と 呼 ば れ る よ う で す。転 読 の 前 に 「唐 の 三 藏 法 師 玄 奘 奉 詔 訳」と 大 声 で 唱 え 転 読 が 始 ま り ま す。三 藏 法 師 と 聞 け ば、か の 有 名 な 西 遊 記 の 主 人 公 で す。十 七 年 に 渡 り 旅 を 続 け ら れ た 玄 奘 は 仏 典 六 五 七 部 を 携 え 帰 国 し ま し た。そ の 後 経 典 の 漢 訳 に あ た り、皇 帝 と 皇 太 子 か ら 序 文 を 与 え ら れ 「大 唐 三 藏 聖 教 序」と な り、現 在 慈 恩 寺

大 雁 塔 に は め 込 ま れ て い ま す。さ て 十 六 善 神 図 で す が、写 真 の 様 に 中 央 に 釈 迦、そ の 周 囲 を 十 六 の 善 神 た ち が 取 り 囲 ん で い ま す。転 読 の 折 り に は 必 ず 「十 六 善 神 図」の 掛 軸 を 本 尊 と し て お ま つ り す る こ と と な っ て い ま す。こ の 掛 軸 を よ く 見 る と 十 七 人 の 善 神 が い ら っ し ゃ い ま す。で は あ と の 一 人 は 誰 と 言 う と 写 真 下 部 右 の 背 中 に 経 卷 を 収 め た 笈 を 負 う 玄 奘 法 師 の 姿 が あ り ま す。下 部 左 の 神 の 腹 に は 顔 が 見 え ま す。こ の 顔 は 沙 悟 淨 で す。こ れ ら の 十 六 善 神 は 般 若 を 我 た で 大 切 に お 守 り し ま す と 大 誓 願 を お こ し、お 祀 り す る こ と に な り ま し た。書 に は あ ま り 関 係 の な い 話 と は 思 い ま し た が 気 に な り ま し た の で 書 い て み ま し た。

岐 阜 支 部

● 岐阜支部事務局会議

四 月 四 日 (火) 六 月 六 日 (火)  
七 月 十 六 日 (日) 八 月 二 十 二 日 (火)  
各 会 議 に お い て 支 部 総 会 に つ い て、支 部 報 の 内 容、第 二 十 八 回 支 部 展 に つ い て、研 修 旅 行 に つ い て の 協 議 を 重 ね た。

● 岐阜支部総会・懇談会

日 時 六 月 十 八 日 (日)  
午 前 十 一 時  
会 場 グ ラ ン ヴ ェ ー ル 岐 山  
参 加 者 四 十 三 名

本 部 よ り 伊 藤 仙 游 理 事 長、松 下 英 風 副 理 事 長 を お 迎 え し、伊 藤 仙 游 理 事 長 の お 祝 辞 の 後、令 和 四 年 度 事 業 報 告、決 算 報 告 に つ い て、監 査 報 告、令 和 五 年 度 事 業 計 画、収 支 決 算 に つ い て の 報 告 の 後 終 了。



岐 阜 支 部 総 会



岐 阜 支 部 展

総 会 に 引 き 続 き 宴 会 場 に 移 動 松 下 英 風 副 理 事 長 に お 祝 辞 を い た だ き、山 中 桂 山 理 事 の 乾 杯 の 発 声 の 後、和 気 藹 々 と 楽 し く 時 を 過 ご し 会 を 閉 じ ま し た。

● 支部会報を七月下旬に発行

● 第二十八回岐阜支部展

会 期 九 月 十 五 日 (金) ～ 十 七 日 (日)  
会 場 岐 阜 市 民 会 館  
出 品 者 二 二 一 名

本 部 よ り 伊 藤 仙 游 理 事 長、岡 野 楠 亭 副 理 事 長、加 藤 裕 副 理 事 長、松 下 英 風 副 理 事 長、横 井 宏 軒 副 理 事 長 の 玉 作 を 賛 助 出 品 い た だ き、会 員 の 力 作 を 展 示 し て、熱 い 日 々 に も か か わ ら ず 来 場 者 の 方 々 に は 熱 心 に 鑑 賞 し て い た だ き ま し た。